

不妊治療費助成事業受診等証明書【先進医療分】

下記の者については先進医療を伴う不妊治療を実施し、これに係る医療費を下記のとおり徴収したことを証明します。

年 月 日

医療機関の名称
及び所在地
主治医氏名

医療機関記入欄（主治医が記入すること）

(ふりがな) 受診者氏名	夫	()	妻	()
	受診者 生年月日	年 月 日 (歳)	年 月 日 (歳)	
今回の治療理由				
今回の治療期間 および通院回数		年 月 日 ~ 年 月 日 通院回数 (回)		
実施した治療・技術 <small>注1)</small> <small>※①先進医療として告示された治療・技術であること。</small> <small>※②厚生労働省に実施医療機関として登録されていること。</small>	今回実施した治療・技術に☑を入れ、実施日を記入してください。以下の他に、新しく告示された治療・技術を実施した場合には、()に記入してください。 上記の治療期間中に一つの治療・技術を複数実施した場合、実施日を複数記載してください。			
	<input type="checkbox"/>	ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術 (PICSI)	<input type="checkbox"/>	子宮内膜スクラッチ
	実施日： 年 月 日		実施日： 年 月 日	
	<input type="checkbox"/>	子宮内膜刺激術 (SEET法)	<input type="checkbox"/>	二段階胚移植法
	実施日： 年 月 日		実施日： 年 月 日	
	<input type="checkbox"/>	タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	<input type="checkbox"/>	不妊症患者に対するタクロリムス投与療法
	実施日： 年 月 日		実施日： 年 月 日	
	<input type="checkbox"/>	子宮内膜受容能検査 (ERA)	<input type="checkbox"/>	子宮内膜フローラ検査
	実施日： 年 月 日		実施日： 年 月 日	
	<input type="checkbox"/>	子宮内膜細菌叢検査 (EMMA、ALICE)	<input type="checkbox"/>	子宮内膜受容期検査 (ERPeak)
	実施日： 年 月 日		実施日： 年 月 日	
<input type="checkbox"/>	強拡大顕微鏡による形態良好精子の選別 (IMSI)	<input type="checkbox"/>	膜構造を用いた生理学的精子選択術	
実施日： 年 月 日		実施日： 年 月 日		
<input type="checkbox"/>	着床前胚異数性検査 (PGT-A)	<input type="checkbox"/>	()	
実施日： 年 月 日		実施日： 年 月 日		
領収金額	【治療に要した金額(全額)】		うち	【治療に要した金額(先進医療分)】
	円			円

注1) 治療内容については「別添2(不妊治療先進医療の一覧)」を参照

別添2（不妊治療先進医療の一覧）

申請技術名	技術の概要
ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術（PICSI）	ヒアルロン酸を含有する培地を用いて、成熟精子の選択を行う技術。
子宮内膜スクラッチ	胚移植を行う予定の前周期に子宮内膜のスクラッチ（局所内膜損傷を与える）を行い、翌周期に胚移植を行う技術。
子宮内膜刺激術（SEET法）	胚培養液を胚移植数日前に子宮に注入し、受精卵の着床に適した環境を作り出す技術。
二段階胚移植法	先行して初期胚を移植し、後日、継続培養を行った別の胚盤胞を移植する技術。
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	培養器に内蔵されたカメラによって、胚培養中の胚を一定間隔で自動撮影し、培養器から取り出すことなく、正確な胚の評価が可能となる技術。
不妊症患者に対するタクロリムス投与療法	反復着床不全に対して、免疫抑制剤（タクロリムス）の投与を行う技術。
子宮内膜受容能検査（ERA）	子宮内膜を採取し、次世代シーケンサーを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査。
子宮内フローラ検査	子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類組成を判断する検査。
子宮内細菌叢検査（EMMA/ALICE）	子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類組成を判断する検査。
子宮内膜受容期検査（ERPeak）	子宮内膜を採取し、RT-qPCRを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査。
強拡大顕微鏡による形態良好精子の選別（IMSI）	強拡大の顕微鏡を用いて、成熟精子の選択を行う技術。
膜構造を用いた生理学的精子選択術	特殊な膜構造を用いて、成熟精子の選択を行う技術。
着床前肺異数性検査（PGT-A）	胚から一部の細胞を採取して染色体の量の解析を行い、染色体数が正常な胚を選択する技術